

研究へのご協力をお願い

陳旧性アキレス腱断裂の臨床的特徴と関連因子を明らかにする多施設共同研究

1. はじめに

当院を含む複数の医療機関では、「陳旧性アキレス腱断裂の臨床的特徴と関連因子を明らかにする研究」を実施しています。本研究は、通常の診療で得られた診療情報（カルテ情報）をもとに行う多施設共同の後ろ向き観察研究です。対象となる可能性のある方へ、研究の内容を公開し、参加を希望されない場合にお申し出いただくために、このポスターを掲示しています。

2. 研究の目的

アキレス腱は、ふくらはぎの筋肉とかかとの骨をつなぐ大切な腱です。これが切れてしまうと、しっかりとした歩行やつま先立ちが難しくなります。

本研究では、陳旧性アキレス腱断裂（受傷から4週間以上経って診断されたもの）になったのは、受診が遅れたためか、初めの診断が適切でなかったためか、また陳旧性になりやすい要因は何かを明らかにすることを目的としています。

この研究により、早期診断・早期治療につなげるための注意点や啓発の対象を明らかにすることを目指しています。

3. 研究の対象となる方

2015年11月～2025年10月の間に、各参加医療機関でアキレス腱断裂（新鮮例または陳旧例）と診断された方です（治療方法は問いません）。

※20歳未満の方など一部の方は対象外となります。

4. 研究の方法

通常診療で得られたカルテ情報のみを使用します。新たな検査や治療は行いません。また、研究のために追加の来院は必要ありません。

調査する主な項目：

年齢、性別、身長、体重

既往歴（糖尿病など）

薬の使用歴（ステロイド、抗菌薬など）

受傷日や受診までの期間

初診時の診断内容

治療方法 など

5. 個人情報の保護について

氏名・住所などの個人を特定できる情報は削除し、研究用に新しい番号を付けて管理し、データ解析を

行います。個人が特定される形で公表されることは一切ありません。また、データは厳重に管理されます。研究成果は、学会や学術雑誌で発表されることがありますが、個人が特定されることはありません。

6. 研究への参加を希望されない場合（オプトアウト）

この研究への参加を希望されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。お申し出があった場合、その方の情報は研究に使用いたしません。

※お申し出によって、診療上の不利益を受けることはありません。

7. 研究代表機関

東京科学大学

医歯学総合研究科 運動器外科学分野

研究代表者・研究責任者

片倉 麻衣

〒113-8519

東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-4675

（平日 9:00～17:00）

8. 共同研究機関

千葉大学

聖路加国際病院

岡田整形外科

立川病院

岡山大学

札幌医科大学

9. 苦情・相談窓口

東京科学大学研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

電話：03-5803-4547

（平日 9:00～17:00）

札幌医科大学附属病院 整形外科

問合せ窓口：村橋 靖崇（札幌医科大学附属病院 整形外科 講師）

住所：〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目291番地

連絡先 平日9時00分～17時00分：整形外科学講座教室 電話 011-611-2111（内線 33330）

（夜間・休日）：4階西病棟（看護室） 電話 011-611-2111（内線 33410）

本研究は、倫理審査委員会の承認を受けて実施しています。

皆さまの診療情報を、今後の医療向上のために役立てたいと考えております。
ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。